

BUSINESS LEADERS WHO CONTINUE TO CHALLENGE

挑み続ける経営者たち 04

変化の激しいビジネス環境で、常に挑戦を求められる経営者。直面する課題に向けて、どのように立ち向かい成果へと結び付けたのか。従来の手法や慣例にとらわれない「挑み続ける経営者」にフォーカスします。

BUSINESS LEADERS
04

精工パッキング 葛飾区
平井 秀明 社長

技術力×葛飾ブランド 新陳代謝を続けながら新分野に挑む

1961年の創業以来、平板打ち抜き加工技術を研究・開発し、「出来ないを出来るに変えるモノづくり」を続けてきた精工パッキング。創業から長きにわたり、安定した経営を続けていたものの、創業者が病に倒れると同時に、経営が大きく傾く。創業から50年間で蓄えてきた資産が見る見るうちに減っていく中で立ち上がったのが、当時39歳の平井秀明社長。それまでは、経営に携わってこなかった平井社長が、2代目社長の父から衝撃の言葉を受けて、一念発起。技術を磨くとともに、メディアへの露出や地域とのつながりを強めながら、同社は独自の進化を続けてきた。今回は、その経緯や取り組みについて、平井社長に話を聞いた。

■「下請け」の姿勢から脱却

平井社長は18歳の時に、精工パッキングへ入社。約20年もの間、現場の一員として、工場で打ち抜き加工・裁断などの実務に携わっていた。「この仕事さえやっていれば精工パッキングは100年安泰だ」との創業者の言葉を頼りに、技術を磨く日々だった。

2013年に創業者が病に倒れると、経営状況が急速に悪化。会社の存続を半ば諦めかけていた先代社長の父からの「お前が経営してみろ」という言葉に平井社長は立ち上がった。「下請け」という受け身の姿勢から脱却しなければ現状を打破できないと考え、「認知度向上」と「新規取引先の獲得」に着手した。

■「葛飾ブランド」を活かしたPR

社長に就任した当初は、一番身近なはずの区内業界団体の仲間ですら、同社の事業内容を知らない事態にあった。これに危機感を覚えた平井社長は、「葛飾ブランド『葛飾町工場物語』」を活用

して、認知度向上と販路開拓に取り組む。展示会への出展やメディアへの露出、SNSやクラウドファンディングなど全く新しい形でPRを始めていった。「当社のことを知ってもらうために、何でもチャレンジした」と平井社長。この変革が功を奏し、社長就任から約8年間で新規取引先を100社まで増やすことに成功。「従来の取引先も大事にしつつ、新規顧客を増やしながら、会社の中の仕事を新陳代謝していく必要がある」と平井社長は言う。



毎日のメンテナンスにより50年以上使い続けている加工機と30年以上使い続けている抜型

新規案件を受注しても顧客が定着しなければ、経営は安定しない。「正確かつ安定的な技術が求められるこの業界では、『機材のメンテナンス』が何よりも重要だ」と平井社長は強調する。顧客の信頼を得るために、メンテナンスにかかる労力やコストは一切惜しまないという徹底ぶりだ。

■視線を変えながら挑み続ける

日々、平板打ち抜き加工技術を研究・開発する中で、高い技術力と経験を活かして、0.2mm幅の極細輪ゴムを開発した。きっかけは、工場に落ちていた「細い紐状の抜きカス」。細さに着目するとどんな製品ができるのだろうかという思いつきから始まった。最初は、同社の技術力を示すための研究だったが、メディアに取り上げられたことで、思ってもみなかった医療分野から引き合いがあり、製品化に向けたプロジェクトが始まった。病院や研究機関と連携しながら、今までとは違った分野で、新



「販路開拓に必要なのは、情報の受信と発信だ」と言う平井社長

しいものづくりの挑戦を続けている。

そんな挑戦を続けるためには、困難への立ち向かい方が重要だと平井社長は言う。「困難に対しては、正面からぶつかるとはならず、視点を変えてみたり、かわしてみたりすることが大事。困難を楽しめる方向に変えれば、自然と周りに人が集まってくる」と語る平井社長。多様な視点からものづくりに向き合う平井社長の飽くなき挑戦はまだ続く。



【第17回葛飾ブランド『葛飾町工場物語』2023】

東商と葛飾区は、『第17回葛飾ブランド「葛飾町工場物語」2023』認定製品ストーリーマンガを発行しました！葛飾ブランドとは、葛飾区の町工場から生み出される選りすぐりの製品などを、「未来を照らす技」葛飾ブランド「葛飾町工場物語」として認定する事業のこと。認定製品の製造背景やエピソードを交えたストーリーマンガでは、「国内で唯一残ったブリキメーカー」や「世界チャンピオンも使用した卓球ラバー」を製造している企業のほか、高度な製造、加工技術を有する新規認定5社の製品を掲載しています。

「葛飾町工場物語」公式ウェブサイトでも無料公開中。▷



今日を愛する。
LION

毎日の習慣をもっとさりげなく、
楽しく、前向きなものへ

